

# 萩ジオパーク推協だより

2015年8月1日 No.1

〒758-8555 山口県萩市大字江向510

TEL: 0838-21-7765

e-mail: [hg-geo@city.hagi.lg.jp](mailto:hg-geo@city.hagi.lg.jp)

HP: <http://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/12>

発行: 萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

ご挨拶

萩ジオパーク構想について

事務局長

福島康行

萩ジオパーク構想推進協議会（萩ジオパーク推協）事務局長の福島と申します。お世話になります。このたび、この「萩ジオパーク推協だより」を発行し、ジオパーク推協の活動やジオパークに関するイベントなどの情報を、会員の皆様にお知らせすることにいたしました。発行は、月2回を予定しています。できる限り多くの方にご覧いただき、皆様とともに取組を進めてまいりたいと考えています。よろしくお願い申し上げます。

## ジオパークとは

あまりなじみのない言葉かもしれませんが、「ジオ」＝地球・大地を意味します。「ジオパーク」とは、科学的にみて貴重な地形や地質、美しい景観を生かした「大地の公園」のことです。ジオパークを訪れると、

- 地球や自然の歴史が体感できる
- 大地と人との関わりを学ぶことができる

と言われます。

## 萩は2016年の日本ジオパーク認定を目指しています。

豊かな自然に恵まれた萩は、そのほぼすべてがジオパークに当てはまると言っても、あながち過言ではありません。「ジオパーク構想」は、今、そこで暮らす私たちが取り組むべき方向そのものを示しているのです。

それでは、萩ジオパーク構想とは

私たちが慣れ親しみ当たり前のように感じている景色にも、実は不思議がいっぱい。なぜ、そのような景色がそこにあるのか、大地の成り立ちを学び、そこでどのような歴史や文化が培われてきたかを知ることで、新しい地域の魅力を発見することができます。

ふるさとの自然に誇りをもって、これからも大切に守っていくとともに、その魅力を未来を担う子どもたちや他の地域から訪れる方々に伝えることで、持続可能な地域づくりにつなげるとともに、自然との関わりを理解し、防災や減災についての意識を高めていくこと。それが萩ジオパーク構想です。

## 萩の新しい魅力は足元に

語るべき物語が盛りだくさんの萩の大地や自然。皆さんも、「ジオ」の切り口から楽しく学んでみませんか。

## 第1回 ジオパーク講座 開催 6/29(月) 『ジオパーク運動の 魁・高島北海』

さががけ たかしまほっかい

去る6月29日(月)、午後1時30分から、萩博物館において、ジオパーク講座を開講しました。この講座は、市民の皆さんにジオパークを、幅広い視点から理解してもらうために企画したものです。今回は、『ジオパーク運動の魁・高島北海』と題して、山口大学大学院教授の金折裕司先生の講演を聴きました。

萩出身の日本画家・高島北海は、山口県において国の天然記念物指定に関わっていたことはあまり知られていません。北海は「長門峡」の名付け親でもあり、須佐湾の記念物指定に尽力しました。また、我が国で初めて地質図を作製したり、農林関係の専門技術者として全国の植物調査にも携わりました。退職後は画家としても活躍し、各地の天然記念物の指定に尽力しました。こうした北海の活動は、地質遺産をもとに「教育・保全・地域振興」の3つの柱で、学び、守り、次代に伝えていく取組、「ジオパーク」の運動とも重なるものです。



## 阿武火山群ジオツアー 7/19(日) 龍が通った道まつり 弥富・小川

豊ヶ淵交流実行委員会(会長 中村和末さん)主催で、7月19日(日)に「伊良尾山火山 龍が通った道まつり」が開催されました。実行委員会では、「龍神まつり」を平成22年から実施し、伊良尾山と「龍が通った道」にちなんだ地域おこし活動を行っています。今回は、萩市のジオパーク登録に向けた取組にあわせ、「伊良尾山火山 龍が通った道まつり」と名称を新たにし、地域の皆さんがガイド役となり見どころを案内するという、「ジオツアー」が実施されました。昼食では地元産の野菜、もち麦やこんにやくなどの食材を使用し、龍の顔や柱状節理を模した「龍神弁当」を賞味することができました。また、アトラクションでは、伊良尾山火山と地元で伝わる龍神伝説にちなんだ創作太鼓「弥富龍神太鼓」が披露されるなど、地域におけるジオパーク活動のモデルとなる充実した取組でした。



(熱心に説明をきく参加者)



(ユーモアを交えて解説する地域ガイド)

## NHK テレビ 「さわやか自然百景」 萩ロケ始まる!

「さわやか自然百景」は、毎週日曜日の午前7時45分から8時まで、NHKで放映されています。全国各地の自然の風景や、そこに生息する生き物などを紹介しています。萩ロケのテーマは、「阿武火山群」。ディレクターは、「ダウンが来た」も手掛けられている松林 明さん。萩出身の日本画家・松林桂月のお孫さんです。5月28日から30日まで、生き物を主にロケが行われました。笠山ではイワタイゲキなどの海岸性植物、須佐湾ではミサゴなどの鳥類、長門峡ではアイヌハンミョウなどの昆虫類、半田や明木の石灰岩地ではベニゴマオカタニシなどの陸生貝を撮影しました。7月23日から8月1日まで、本番ロケが行われます。海上から萩六島を撮影したり、ドローンを使って豊ヶ淵・龍鱗郷などの柱状節理、須佐湾の砂岩と泥岩の地層・豊岩などを撮影したりします。放映日時は未定ですが、決まりましたらお知らせします。



(笠山海岸の植物を撮影する松林さん)



(石灰岩上のベニゴマオカタニシ)

(笠山海岸の植物を撮影する松林さん) (石灰岩上のベニゴマオカタニシ)

## 8月の予定

○萩・海の学びトレインツアー (対象:制限無し)

8月1日(土)・22日(土):ジオクルージングコース

8月8日(土)・29日(土):いきものウォッチングコース

事務局:トレインツアー実行委員会(萩博物館内)

○萩川柳会 ジオ体験現地研修会 8月10日(月)(行き先:須佐・弥富・小川方面) 主催:萩川柳会

○教員向けジオサイト現地研修会(対象:小中教員)

8月12日(水):須佐地域 8月17日(月):笠山地域

主催:萩市教委・萩ジオパーク推協

○ジオな夏休み自由研究相談会(対象:小中学生)

阿武火山群 石の名前調べ 8月12日(水) 14:00~16:30

会場:萩図書館 主催:萩ジオパーク推協

○日本ジオパークネットワーク中四国近畿ブロックキャンペーン

8月21日(金)~22日(土) 会場:大阪市立生涯学習センター

主催:日本ジオパークネットワーク(対象:事務局)

○夏休み子ども教室 マイクロバス旅行 ~萩の土地をつくった火山の勉強をしよう~ 8月25日(火)

行き先:弥富・小川方面 対象:三見・大井地域の小学生、保護者、先生、地域の方) 主催:三見公民館

